

(別紙4(2))

事業所名 グループホームこもれび

作成日 : 令和3年2月19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者の馴染みの人や場所、人間関係等についてさらに情報を収集し、馴染みの関係が継続できるような支援が望まれる。	職員間で話し合い、コロナ禍の中でどのような支援ができるかの話し合いを行った。入居者一人一人の馴染みの方への近況報告を行うことにした。	季節の行事を通して近況報告のはがきを作成し送付する。まずは、年賀状を作成し元気であることを伝える。	か月
2	35	非常災害時における利用者の安全な避難誘導のためにも、消防計画を作成し、昼夜を想定した年2回の訓練の実施が望まれる。	コロナ禍の中、昼夜想定消防訓練、避難訓練を規模を縮小して2回実施する。	消防計画書を作成し、職員と入居者参加の消防訓練、避難訓練を実施する。令和2年12月18日に夜間想定で1回目を実施した。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。